

気候変動により発生増加が見込まれる災害への備え（適応策）

マイ・タイムラインを作成しよう！

マイ・タイムラインは、豪雨や長雨などによる河川の氾濫や土砂災害が起きそうなときに、余裕をもって逃げるために、「いつ」「誰が」「何を」するのか事前に考えて、行動内容を決めておく、一人ひとりの防災計画です。いざという時に備えて、マイ・タイムラインを作成しておきましょう。

作り方

①マイ・タイムラインの記入用紙を用意しよう

国、県、各自治体のHP上にひな形が公開されています。

・えひめの防災ポータル

<https://www.pref.ehime.jp/h15350/bosai-portal/knowledge/risk/mytimeline.html>



②防災マップ等で危険個所をチェックして、避難場所を選ぼう

住居や職場の地域について、防災マップ等から危険個所を把握して、避難の必要性や避難場所を決めましょう。

・えひめ土砂災害情報マップ

<https://www.sabomap.pref.ehime.jp/>



・各市町の防災マップ

<https://www.pref.ehime.jp/h40700/5743/bousaimap.html>



③気象情報や警戒レベルに合わせて、避難タイミングを決めよう

気象情報や警戒レベルはどこから入手できるか確認しておきましょう。また、家族の避難タイミングや避難後の連絡方法なども決めておきましょう。

・えひめ土砂災害危険度情報

<https://www.sabo.pref.ehime.jp/kikendo>



・土砂災害警戒情報・土砂キキクル：気象庁

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:4/34.5/137/colordepth:normal/elements:land>



④マイ・タイムラインを家族や地域の人と共有しよう

作成したマイ・タイムラインについて、家族や地域の人と共有して、避難が必要な時に助け合えるようにしましょう。

・記入例

(マイ・タイムラインを作りましょう：松山市)

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/bousai/keihatu/mytimeline.html>



出典 松山市ホームページ「松山市マイ・タイムライン記入例」



13 気候変動に
具体的な対策を



えひめの未来を考えよう！

気候変動の話

～大雨の増加と土砂災害に備えましょう～



平成30年7月豪雨による土砂災害の様子（左：松山市 右：宇和島市）

写真：平成30年7月豪雨 警戒避難体制強化のための土砂災害検討委員会報告書

<愛媛県気候変動適応センター>

住所：〒791-0211 愛媛県東温市見奈良1545番地4（愛媛県立衛生環境研究所内）
TEL：089-948-9678 / FAX：089-948-9539
MAIL：kikoutekiou-cnt@pref.ehime.lg.jp
URL：<https://www.pref.ehime.jp/h25115/kikouhenndoug020402.html>

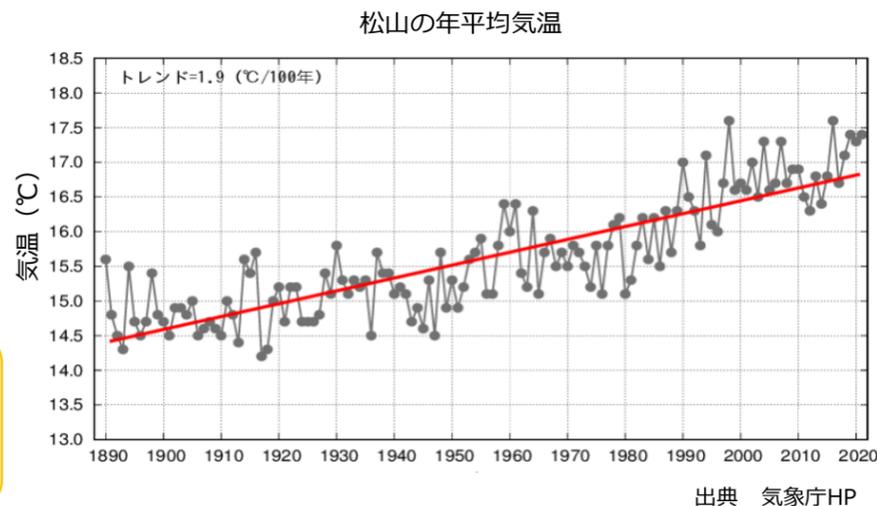


このリーフレットは、「環境省令和4年度国民参加による気候変動情報収集・分析委託業務（愛媛県）」により作成したものです。

愛媛県

年平均気温の変化

松山の年平均気温は、100年あたり約1.9℃（統計期間：1890～2021年）の割合で上昇しています。これには都市化の影響が含まれますが、日本の平均気温の上昇(100年あたり約1.2℃)より高くなっています。

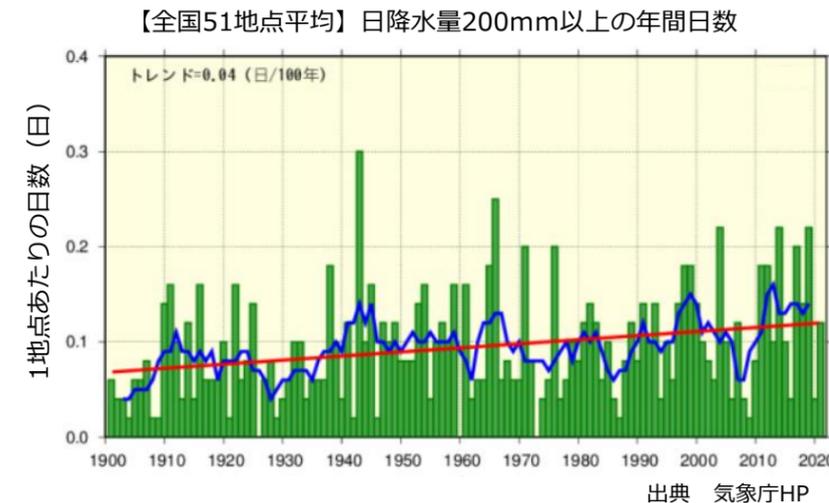


長期的な傾向

年平均気温の上昇のほか、猛暑日、熱帯夜が増えている（気象庁）

大雨頻度の変化

日本の年間の降水量では、統計的に有意な長期変化傾向はありません。一方で、日降水量1.0mm以上の日数（≒雨が降った日）は減少しており、全国の日降水量200mm以上の日数は、1901～2021年の121年間で増加しています。（右図）



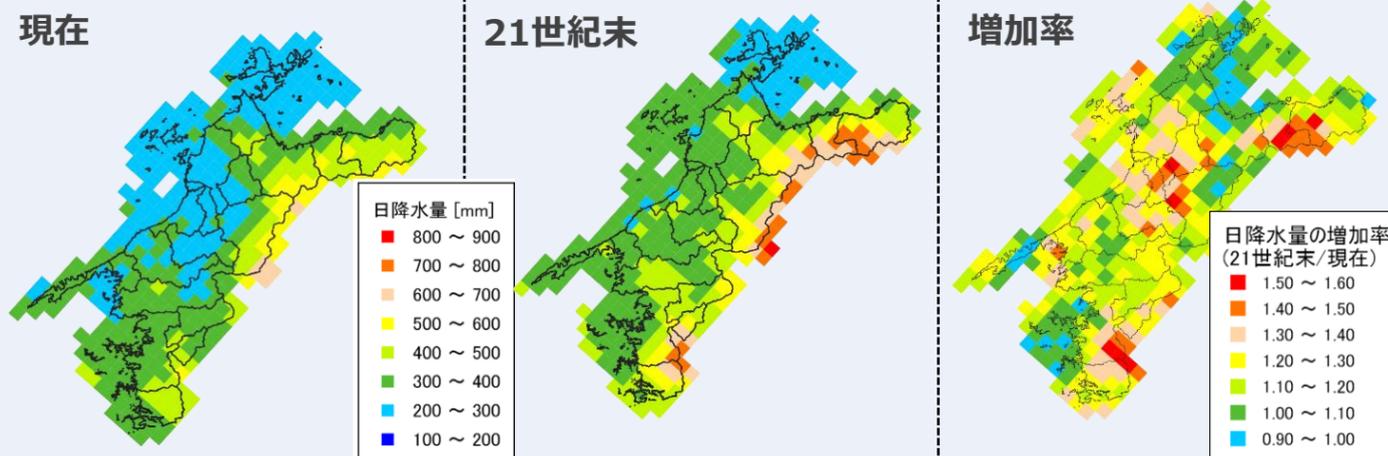
長期的な傾向

集中豪雨など、短時間により強い雨が 증가している（気象庁）

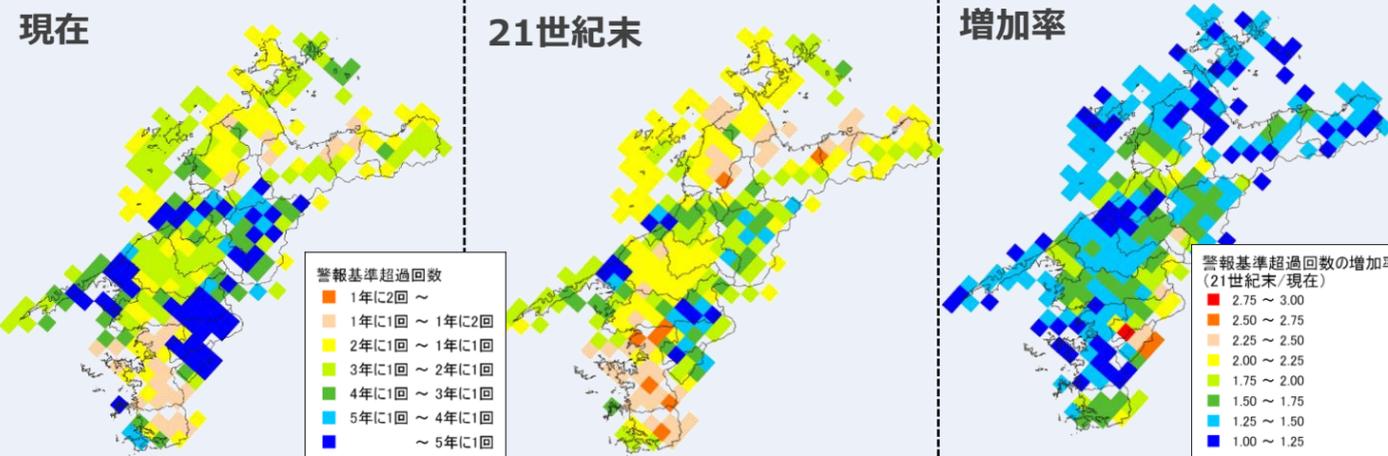
地球温暖化対策（温室効果ガス排出量削減）を取らなかった場合に、愛媛県の雨の降り方はどう変わっていくのか？

現在と21世紀末をシミュレーションした結果、50年に1度の大雨の発生回数は愛媛県の平均で約1.2倍に増加しました。また、大雨警報（土砂災害）の発令頻度は、約1.3倍になると予測されました。

50年に1度の雨の変化



大雨警報（土砂災害）の発令頻度

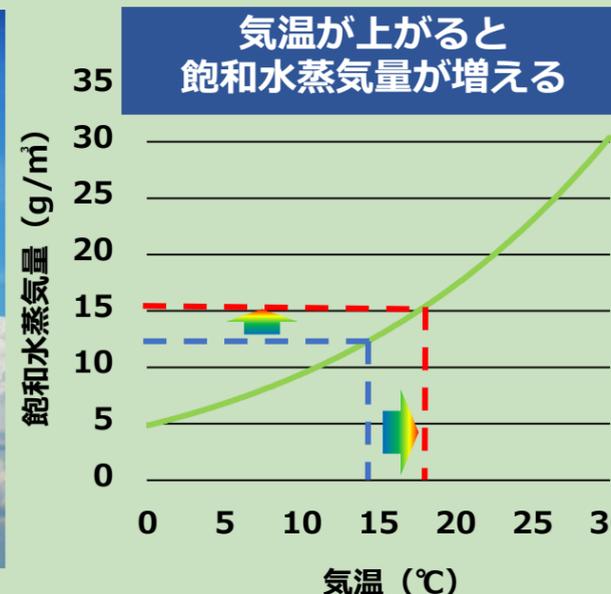


計算に使用したデータ：大気近未来予測力学的ダウンスケーリングデータ（東北から九州） by SI-CAT(SI-CAT DDS5TK)

疑問にお答えします！

地球温暖化によって大雨や短時間 強雨が増えるのはなぜ？

気温が上昇すると、水蒸気を大気中に含まれる量（飽和水蒸気量）が増えるため、地球温暖化が進むと、ひと雨で降る雨の量が増え、強雨の頻度が増加します。



出典 気象庁HP

将来の気温の変化

温暖化対策を取らなかった場合
現在を基準とすると
21世紀末に3.0～4.0℃上昇

計算に使用したデータ
農研機構地域気候シナリオ2017 (MIROC5)

